

第1回 防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会 会議録要旨

開催日時 平成27年8月18日（火） 午後6時から午後8時まで

開催場所 防府市役所1号館3階 南北会議室

出席者 【委員】 鳩委員（委員長）、古田委員（副委員長）、福田委員、大村委員、岡本委員、喜多村委員、久保田委員、田内委員、林委員、広石委員、山野委員、田中委員、長峯委員、猪俣委員、河島委員

欠席者 青木委員、水田委員

【事務局】 原田総務部長、熊野総務部次長兼庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、本間庁舎建設室建設推進係長、沼田庁舎建設室建設推進係主任

概要（発言要旨の文章は、簡略化している。）

1 開 会

○市長あいさつ（中村副市長代理）

○委員紹介

○委員長・副委員長の選出

委員長に鳩委員、副委員長に古田委員が選出される。

2 議 事

（1）庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会について

○設置要綱について

事務局から資料2により説明。

○会議の公開等について

・事務局から資料3により説明。

・委員氏名等の公表、会議の原則公開及び会議録要旨の原則公表を決定。

○報道対応について

録画、録音などについては原則禁止、写真撮影は会議前、会議後の全体風景については委員長判断により認める。

（2）基本構想・基本計画策定までの進め方について

事務局から資料4により説明。

・今年度は、建設候補地の検討を行っていくことが中心。

・並行して「現庁舎の課題」、「新庁舎整備の基本的な考え方」などの検討も予定。

・今年度、来年3月までに、4回程度（今回、10月、11月、1月）の開催を予定。

・平成28年度は、導入機能、庁舎規模、配置計画、概算事業費や財源などの検討を行い、基本構想・基本計画の案を作っていく予定。

(3) 来庁者アンケート及び市民アンケートについて

事務局から資料5、6により説明。

- ・両アンケートとも9月中旬頃1、2週間程度で実施予定。

【質疑・意見等】

- 委員 基本的に市に用事がある人だけが市役所を使うという前提にするのか。用事がなくても自由に気楽に立ち寄れる市役所であるべきといったような基本的な観点から質問をしてはどうか。
- 事務局 他市では市役所に用事があって来られる方以外の方のために、市民スペースなど市庁舎に交流の場を設けたり、いろいろな工夫されたスペースを設けたりしている。そのような機能については、資料6の間10、11で聞いている。
- 委員 用事がなくても市役所に来られる、くつろげるスペースを、というはつきりしたものをに入れてはどうか。この質問では用事があることが前提となっている。用事がなくても市役所に来て、談笑できるスペースといったようなものについて明記してはどうか。
- 事務局 資料6の質問11の内容について、選択肢を入れるよう検討する。
- 委員 郵送だけでなく、例えば公民館などの出先にもアンケートを配付し、意見を聞いてはどうか。
- 事務局 公民館等の出先でのアンケート配付については前向きに考えたい。
- 委員 市民アンケートは18歳以上の市民を無作為抽出とのことだが、若い人はアンケートにあまり返答がないということが多く、できるだけ若い人の意見を反映できるような何か良い方法がとれないか。市庁舎は長く使っていくものなので、若い人を吸い寄せるような方策があると良いと思う。
- 事務局 市で行う他のアンケートでも、60代以上の方の回答率は非常に良いが、20代、30代の回答率が低いという結果が多い。今までは世代ごとの人口割合に応じて抽出数を決定していたが、例えば若い人の抽出数を増やすなどの工夫をしてみたい。
- 委員 市広報にアンケートを入れて各戸配布するといったことを検討してはどうか。
- 事務局 他市で実施されており、全戸配布したにもかかわらず回収率がかなり低いという結果であった。
- 副委員長 若い人の意見を聞くために、例えば高校3年生にアンケートを書いてもらうといったことも考えられるのでは。
- 委員 若い人の回収率を上げるため、アンケートの中に、市債をどのくらい発行して、どのくらいの返済期間になるとか、財源のことを記載し若い世代に当事者意識を持たせるようなことを考えてはどうか。
- 事務局 判断材料として事業費や財源が示されないと切実に感じられないという面はあると思うが、今の段階では具体的に概算事業費などを示すことができないので記載は難しい。
- 委員長 若い人たちが問題意識を持ってアンケートに協力してもらえよう、資料6の依頼文に次世代を担う方々の意見が非常に重要といったような文言を加えられないか、事務局で検討をお願いしたい。

(4) 建設・環境部会検討報告書について

事務局から資料7、8により説明

【質疑・意見等】

- 委員 庁舎を建設するには、どれぐらいの敷地面積が必要か。
- 事務局 どの程度の大きさのものを作るか、集約型にするか、今のような分散型にするかによっても変わってくる。
集約する場合であれば、以前、庁内プロジェクトチームが18,000㎡程度の延床面積が必要という報告を出している。この延床面積で考えると、現庁舎の敷地であれば集約して建てることは十分可能だと思う。公会堂・文化福祉会館の敷地についても同様。駅北公有地については道を挟んで分散しているの、ある程度土地を集約することが必要ではないか。中央町については市の土地だけでなく、民地を取り込まないと厳しいかもしれない。
庁舎だけでなく、駐車場を立体にするか、平面にするかといったことでも変わってくる。
- 委員 場所を決めてから機能を決めるのか、機能を考えてから場所を決めるのか。
- 事務局 まず基本的な理念や、どういう機能が必要かを検討し、それが満たされる候補地を優先的に考えていく。
- 委員 報告書11ページにある「まちづくり」について防府市を考える場合、JR防府駅が中心となるのはわかるが、天満宮と人の流れも重要と思う。防府のまちづくりの柱についてどのように考えるか。
- 事務局 現在、市ではまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定中だが、その中でコンパクトシティの形成として、駅中心に都市機能を集約していく方向で検討している。観光振興の面からも天満宮を活かしたまちづくりは必要であり、「歴史を活かしたまちづくり」の事業や、歴史的遺産との連携、人の流れなどについても考えていきたい。
- 委員長 4つの候補地それぞれの場所の位置づけが必要ではないか。例えば防府天満宮からの動線を考えれば本庁舎もしくは駅北、公会堂、これらとどのような近接性があり、歩行者にとってメリットとなってくるかとか、商店街との位置関係がどうなっているかとか。敷地とまちづくりの資源との関係性をどのように位置づけていくかということについての資料があれば議論しやすいと思うので、そういった資料の提示をしていただきたい。
- 委員 公会堂・文化福祉会館敷地を候補地とした場合、2つの施設の機能はどこかに移転することになるか。
- 事務局 公会堂・文化福祉会館敷地に市庁舎を建設する場合には、公会堂等の移転についての検討が必要になる。
- 委員 4点ほど申し上げる。まず1つ目として、報告書3ページの基本理念について、もう少し防府市の今までのまちづくりや文化的なものを考えたオリジナリティーのある基本理念ができないか。
2点目として、市庁舎の建設が中心市街地の活性化に本当に寄与するのということについてはどのように判断するか。
3点目として、駅前に市庁舎がある事例やその評価、検証がなされた事例があるか。
最後に、駐車場についてはどのように考えるか。

事務局

1点目の基本理念については、庁舎建設懇話会での意見をまとめたものであり、事務局としても、できれば防府の特色を出せるようなものにしていきたいと思っているので、これをたたき台として、今後、資料等を提示していきたい。

2点目について、単に庁舎が建っただけで中心市街地の活性化に本当に寄与するのだろうかという点、ハード的なものだけでなく、何らかの仕掛けのようなものが必要かと思う。どのようにすれば中心市街地の活性化に寄与できるのか、どのような庁舎の使い方をしたらいいのかというところも考えていければと思っている。

3点目について、以前調べたところ、現在の庁舎は、県内13市の中では3～4番目に駅に近い庁舎であったと記憶している。評価、検証については、他市の事例等を調べたい。

最後の駐車場の件については、庁舎が建つということになれば、ある程度の駐車場は必須であるため、今後、検討していきたい。

委員

基本理念については、防府市の今までのまちづくりの課題を活かしながら考えてみてはどうか。中心市街地の活性化に寄与するの点ということについても、少し掘り下げ考えていけるよう、資料を示していただきたい。

委員長

次回以降は、候補地をいろいろな形で評価しながら絞り込んでいくという作業になっていくと思うので、今日いただいた意見についての資料を準備していただきたい。

3 その他

○次回開催日程について

第2回委員会は、10月21日(水)18:00から開催する。